

平成 29 年度市民懇談会（子育てについて）意見のとりまとめ

市民懇談会（平成 30 年 2 月 10 日開催）のグループにおける意見交換で頂いたご意見を踏まえ、「子育て」に関する問題・課題、今後の取組などを以下の通りとりまとめました。この結果を今後の議会において「子育て」についての施策などを検討する際の参考といたします。

なお、子育て層の参加の少ない中での意見交換となりましたため、このとりまとめに子育て対象世代のご意見・ご要望が十分に反映されていない点にご留意頂きますようお願いいたします。

【子育てについて参加者から出された意見】

○家庭環境・教育に関する問題

▼しっかり子どもと向き合い、子育てをしておられる保護者もおられるものの、子ども、親ともに忙しく、親が子どもと関わる時間が少なくなっており、しつけ等も不十分になっている。

- ・家庭教育の大切さが叫ばれる反面、社会環境の変化とともに家庭における子育ての時間が減少している。
- ・若い保護者は、仕事に出て帰宅が遅くなり、子どもに目を向ける時間が限られてしまっている。
- ・若い保護者は仕事が多忙なことから、家庭でのしつけができておらず、子どもは常識を知らなくなっている。
- ・背景として、親子が忙しいというのがある。
- ・子どもは、塾や家、クラブ（サッカー、野球）、親は共働き、長時間労働。
- ・家庭内で子どもとの会話が少ない。
- ・幼児だけで外で遊んでいるのが危険。（交通事故・犯罪）2、3才の幼児だけで、家の前の道で三輪車に乗って遊んでいる。親は家の用事をしているので子どもが遊ぶのを見ていない。

▼子どもを叱れない親が増えている。

▼親の意識が変わってきている。

- ・若い保護者は、スマートフォン等の普及で情報量が多くなっており、社会との関わりが打算的になっているのでは（どの場へ行けば何をもらえ、何が得られるのか等）。

▼あいさつ運動で子どもに声をかけると、一人で歩いている子どもは反応が薄く、団体に歩いている子どもたちは反応が良いとの印象がある。

▼子どもと遊ぶ機会が減っている。

○学校教育に関する問題

▼教師が多忙で子どもと接する時間が減っており、いじめに気づきにくいなどの支障が生じている。

- ・教師が事務等で多忙で、教師の負担が多様化し、増え続けている。
- ・今の社会は、いじめ等があった場合でも、子供が発信している信号を、先生も保護者も見つけにくい。
- ・今の教師は忙しいと言われているが、理解できない。

▼子どもを叱れない教師が増えている。

- ・安全性が強調され、放課後がなく、夏休みのプール開放がなくなった。熱中症の件で、外で遊ぶのも難しくなった。子どもの遊ぶ機会が減っている。

▼携帯電話、スマホによるいじめが問題となっている。

- ・小学校、中学校においてケータイのトラブル（ラインいじめなど）。

○就学前教育

▼待機児童が解消できない。

- ・保育園の待機児童がなかなか解消できない。保育園に入れず育児休暇を延長しているなどの隠れ待機児童もいるのではないか。

▼南こども園では園児が大すぎて問題が生じている。

- ・南こども園になってとまどいがある。園庭の割に人数が多いからか、曜日により遊べる日と遊べない日がある。地域からの苦情で夏場のプールが制限される。また前の道が危ない。

○地域・生活環境に関する問題

▼地域の繋がりが薄れ、子育てを支える地域の力が低下している。

- ・子育てできない社会である。
- ・地域で支え合うことが難しくなっている。
- ・昨今は地域のつながりが作り難い。
- ・小学校の登下校時、地域によっては見守りがない場合もある。
- ・地域であいさつ運動をしているが、子どもたちに声掛けしても反応が薄く寂しい。
- ・共働きが多く近所付き合いが少ない。
- ・個人的には「あいさつ」も「運動」となってしまうと抵抗感がある。

▼地域社会の中での信頼関係が崩れてきている。

- ・子どもに関係した犯罪が多く発生し、社会的に不信感が強くなっている。
- ・子どもの付き合い方、近所の子どもに声の掛け方や対処が分からない。高齢者世代と若者世代の交流がないので、高齢者が子どもを注意できる人間関係ができていないため声を掛けづらい。
- ・マンションでは人間関係が希薄。人を信じることができない環境となっているのでは。
- ・叱られ慣れている子どもが多くなっている。
- ・SNSが普及し、面と向かって話をする機会が少なくなっている。

▼地域でのイベント、世代間交流に取り組まれている地域と、そうでない地域がある。

- ・子どもの減少⇒子ども会等の減少⇒イベントの減少といった悪循環となっている。
- ・地域のお祭りも減ったり、なくなったり。
- ・老人会が、焼き芋等のイベントを行い、子どもに来てもらって交流している。
- ・小平尾の公園を地域で掃除、整備。きれいで使いやすいとみんな集まっている。
- ・壱分町では、老人会で整備しているが、子が来ない。平群北の公園や東大阪のドリーム21に車で行っている。

- ・学童保育では、夏休みなど長期休みは一日中そこにいる。学童同士はイベントをするが、老人会と一緒に、というのができない。
- ▼子どもが遊べる場所が少なく、遊びを知らない子どもが増えている。
 - ・自由にのびのびと遊べる場所がない。
 - ・屋外での遊びを知らない子どもが多くなっている。「鬼ごっこ」も知らない子どもがいる。
 - ・近所の子どもが異年齢で遊ぶことがない。
 - ・学童保育では、上の子が下の子の面倒を見る。夏休みなど長期休みは一日中そこにいる。学童同士はイベントをするが、老人会と一緒に、というのができない。
- ▼保護者が忙しく地域での役割が果たせなくなっており、子ども会の維持も困難になっている。
 - ・若いお母さんの多くが働いておられるので、子ども会離れが顕著になっており、運営も難しくなっている。
 - ・子ども会がだんだんなくなっている。これは、親が役をするのが嫌でということで、自治会と同じである。
 - ・母子家庭で働いておられる場合、ごみ出しやごみ集積所の清掃当番が困難。
 - ・今の子育て世代が30年後生活できているか不安。

【子育てについての課題・取組提案】

○家庭環境・教育

- ▼親が責任を持って子育てに当たることが大切であり、そのためにも親が成長する機会が重要となる。
 - ・保護者が責任を持って子育てに当たることが大切
 - ・一般常識、モラルは誰が教えるのか。車が来ても横一列で歩く。問題があるのは子どもなのか親なのか。親世代に働きかけが必要かもしれない。
 - ・親自身が成長して、責任を持って他に頼ることなく、子どもを育てることが大切
 - ・家庭での価値観の形成が子どもにとって重要。
 - ・子どもが人を見分ける目を家庭で養っていかねばならない

○学校教育

- ▼子どもへのケアを充実させるため、学校の教員の増員が必要である。
 - ・学校の教員数を増やして欲しい。(ケアが行き届いていない。中学生の場合、受験や反抗期などナイーブな時期に産休・病気などで担任の先生が途中で変わると不安定になる。)
- ▼校区選択制度についての検証、中学校への導入について問題提起されている。
 - ・幼稚園、小学校の選択制度については、行きたい園校に行ける、いじめ等が会った時でも回避できるといったプラス評価がある反面、生徒の偏りが生じるといったマイナス評価もある。
 - ・校区問題も考えなければならない。小学校は隣接選択だが、中学校は選択制ではなく、何とかして欲しいとの声もある。
- ▼子どもの成長の度合いを見ていくには、他の子どもたちや親との交流が大切になってくる。
- ▼給食センターのアレルギー対策を万全にしてほしい。

○就学前教育

- ▼保育士不足への対応が必要である。
 - ・保育士不足という状況もあるので、子ども園化をさらに進めれば良いのでは。
 - ・能力ある人材が保育に関わってもらえる仕組みづくりができないのか。
- ▼待機児童の解消への取組が必要である。
 - ・待機児童を解消するには「想定外の増加」も織り込んだ計画を立てるべき。
 - ・小学校の児童は減少している中で、空き教室を保育スペースとして活用できないか。
 - ・0歳からの保育体制
- ▼保育園と幼稚園の交流があってもよいのではないか。
- ▼ごみ減量やリサイクルの大切さを保育園・幼稚園で子どもに教えると、自分の家庭で保護者に話をするので啓発につながる。

○地域・生活環境

- ▼地域が連携して子育てに取り組むことが必要である。
 - ・子育て関連組織（PTA・子ども会等）が連携することが大切
 - ・地域でいろんな集団をまとめて、子も親も一緒に参加し、親育ての場に。
 - ・校区ごとに自治会、PTAも入って盛り上げる場を持つ。
- ▼地域の繋がりを推進するため、世代間が交流できるイベントが必要である。
 - ・小さい子どもと見守るおじいちゃんおばあちゃん世代を繋ぐ仕組みができれば良い。
 - ・地蔵盆のような地域での世代間交流イベントが必要。
 - ・地域での世代間交流の場が必要（社会が子供を育てる）。
 - ・地域と子どもが繋がる機会を増やしていくべき。
 - ・地域で子どもたちが繋がっていくことが大切。
 - ・地域で行事、イベントがあまりできない場合は、地域でいろいろやっている人の力を活用するという方法もあるとの提案が。生駒にはいろんな力、経験を持っている人がいると。例として、ボーイスカウト、天文同好会。
- ▼あいさつし合える、叱り合える地域の関係づくりが必要である。
 - ・あいさつすることの意味、意義を広めていけば良いのでは。
 - ・あいさつをしないと犯罪者が増えるのではないか。
 - ・子どもにとって、叱り、叱られるという風土づくりが必要なのでは。
- ▼子ども会の維持、育成に向けた取組が必要である。
 - ・子ども会に補助金を出す。
 - ・PTAの中で子ども会のリーダーを養成することをしては、という提案があったが、PTAと子ども会は違うという声もあった。
- ▼「発達障がい」に対しては、地域の理解、地域での受け入れ、地域での支援が必要である。
- ▼地域の安全確保の取組が必要である。
 - ・犯罪抑止の観点から、地域に監視カメラを設置するのも一つの方法。
 - ・学校はこんなに大変で、地域での子育て推進をお願いしたい。
 - ・何かあっても子どもを預けられず、どこも頼るところが無い世帯は、地域でどう助けてあげればいいのか

- 今の社会、国を立て直すには、日本の歴史教育が必要である。

○子育て層の定住支援

- ▼子育て層を支援する施策が必要である。

- 子育てしやすい市の施策。人口減少・高齢化に対し若い人がたくさん来てくれるまちづくりのための生駒独自の優遇措置はあるのか。1人目の子どもに10万円、2人目に20万円、3人目に100万円を支給するなどの施策を実施している自治体がある。
- 空き家の住宅を安く借り上げ、安く提供するなど、若い人が入りやすい施策。